
マジカルショートカット

阿僧祇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マジカルショートカット

【Nコード】

N9403X

【作者名】

阿僧祇

【あらすじ】

魔法を身につけたい少女・ベルとリアは、魔法学校の1年生。ただ勉強や修行は大嫌い。そこで、修行しなくても魔法を使える方法を試そうとします。ところが生半可な知識でやるから次々と大失敗を。/作画未完成に終わった(らしい)、12ページの漫画脚本形式です。

(前書き)

主要人物

ベル：ベル＝ブレイカー。魔法中学の2年生。

リリア：リリア＝タンブル。同級生。

賢者：無表情な賢者で、二人の先生。名前は作中に出ません。

悪魔1：出来損ないのぬいぐるみのような変な悪魔。

悪魔2：昔のマンガのロボットのような変な悪魔。

「1」

T「マジカルショートカット」

(魔法使いの姿で萌え萌えなポーズをとるベルとリリアを)

「2+3」

教室

ただいま授業中。

賢者「魔法にもいろいろあるが…まずは精神魔法から学ばなければならん。」

「精神力で、紙に火をつけてみる」

机の上の紙片を精神力で燃やそうと、生徒たちは必死。

生徒A「うーうーうーんっ」

生徒B「くそお、燃える燃える燃える萌える…(以下書き文字)あれっ?」

賢者の声「できない奴は、精神力をつけるために腕立て伏せ50回！」

えーうーうー…と、生徒たちのため息

学校の外観

中世の城か教会のような建物の学校。

カラーン、コローン…と「鐘」が響く。

キャプション「パラケルスス魔法学院」

教室

放課後

リリア「ベル! 火、ついた?」

ベルはため息。

ベル「魔法の才能ないのかなあ、私」

リリア「無理。もともと無理なのよ」

ベル「リリア？」

リリア、髪を掻き揚げながら

リリア「有名な魔法使いで、精神魔法が主体って人、いる？ いや
いない！」

「それは魔法使いじゃなくて超能力者だもの！」

リリア、魔方陣のような背景イメージの前で腕を組んでポーズをとり、

ニヤリ。

リリア「大賢者メイガスは魔法マテリアルの素材を使って魔力を起こすのよ。」

「マテリアルさえあれば私たちだって……」

「4 + 5」

学校

夜。

廊下

暗い廊下を、隠れるように這っている2人。

ベル「やばくないかな？」

リリア「何言ってるの」

リリア、扉をピッキングしながら振り向いて

リリア「先生たちのマテリアルを盗み出せば近道って言ったのはベルよ？」

ベル「そ、それはそうだけど……」

ピーン！

リリア「開いた！」

実験室

魔法の実験室。がいこつ、魔方陣、ガラス管、大鍋など、おどろおどろしい物

がたくさん置いてある。

デスクの上においてあるフラスコと、なにやら石炭のような黒いものを手に

してる2人。

リリア「これ、使ってみよう」

ベル「でも、使い方わかるの、リリア？」

リリア「混ぜれば何か起きるわよ、きつと。」

リリア、机の上に置いた黒いものにフラスコの液体をそそぎかける。

「6+7」

廊下

ポムツ！ と、爆発で扉がふつとんだ。

生徒指導室

…のようなところ。

賢者が激怒して、2人に向かってガミガミガミガミ！

廊下

疲れきった表情で2人が歩いている。

ベル「4時間もお説教〜〜」

リリア「失敗だったわ。マテリアルは、扱う知識がなければ危険ね。」

ベル「諦めて基礎からやろうか？」

リリア、人差し指をたてて「ちつつち」

リリア「大魔女は悪魔と契約して魔法を使うのよ。私たちだって、悪魔を呼び出せば！」

「8 + 9」

夜の実験室

ベルとリリアがそれぞれ壁と床に、本を見ながら魔法陣を書いている。

リリア「できた？」

ベル「うん。たしかにこれは魔法への近道ね。」

リリア「じゃあいよいよ、悪魔を呼び出すわよ？」

ベル「よし、がんばるぞ！」

リリア、床の魔法陣に向かって手を組んで祈るように

リリア「エロエムエスサイム、エロエムエスサイム、われは求め訴えり！」

ベル、壁の魔法陣に向かって、ねじくれた棒を振りながら

ベル「アブラカタブラ、アブラカタブル、アブラカタブ、アブラカタ……」

ボン、と煙とともに、床の魔方陣から、角のあるワニと羊の合体したできそこ

ないのぬいぐるみみたいなの、わけのわからない変な姿の悪魔が現れる。

ちやんとほころびて綿も出ている。(笑)

リリア「きゃーっ!!」(驚)

リリア、泣きながらベルに向かって

リリア「ベル、ベル！わけのわかんないのが出てきちゃった！」

ベルは無視して呪文に集中

ベル「アブラ、アブル、アブ、ア！」

「10 + 11」

壁の魔方陣から、光とともに昔のマンガのロボットのような変な悪魔が

のっしのっしと出てくる。

ベル「キャアアアッ!？」

抱き合って驚くベルとリリア。

ぬいぐるみ悪魔がロボット悪魔をにらみつける。背景に炎。

ロボット悪魔もにらみつける。背景に稲妻。(互いにライバル

意識(笑))

ギヤオーツ ガガガガ グワーツ

2体の悪魔の派手な闘いに背を向けて、逃げ出す2人。

ベル&リリア「ひえー！ーっ!！」

「12」

教室

誰もいない教室で居残りの二人。

ベル「えーんっ、騒ぎを起こした罰で、象形文字かんじの書きとり500枚だなんて!」

リリア「お、終わらない……」

ベル「やっぱり、諦めて基礎からしっかりやるっよ、リリア……」

リリア「いいえ!」

リリア、ペンを握り締めて

リリア「悪魔なんか頼ったのが間違いだったわ。大魔導師ウオーロックは、

宇宙に偏在するマナの力で魔法を起こすのよ。私たちだって……」

ベル「また近道?」

ベルはちよっと嫌そう。

キャプション「ENDLESS」.

<<<おしまい>>>

(後書き)

追記

「マジカルショートカット」とは、読み手さんがオチで初めて気がつくように「魔法の近道」という意味を持たせたかったんですけど、厳密にはそういう言葉になってませんね。まあゴロのよさそうな題名ってことで。(笑)

ベルかりリアの髪型がショートカットだったりすると一層わかりにくくなって、愉快かも？(お

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9403x/>

マジカルショートカット

2011年10月26日08時14分発行